

## ピックアップ事例



### ちようかいネット（平成23年稼働）

酒田地区医療情報ネットワーク協議会（山形県）  
鶴岡地区医療情報ネットワーク協議会（山形県）

☎ 0234-26-5112（酒田地区） 0235-26-5111（鶴岡地区）

🌐 [公式ホームページ](#)

※平成31年3月時点

#### 全体概要

- 概要
- 特徴
- 成功要因
- ネットワーク構築時の苦勞
- 構築する方へのメッセージ

#### 計画Step

1. 地域課題、要求事項の抽出
2. 必要性の検討
3. 事業概要の決定
4. 事業運営主体の組織の設置
5. 個人情報保護方針などの作成
6. ガイドライン・標準化規格などの確認
7. システム化方針決定
8. 事業計画・収支計画の立案

#### 構築Step

1. 工程管理
2. 仕様書作成・調達
3. 要件定義・設計
4. 構築
5. テスト

#### 運用Step

1. 運用に向けた文書作成
2. システム運用保守体制決定

## 更改Step

### 1. 医療情報連携ネットワークの改善事項検討

今後の課題としては以下が挙げられ、酒田地区・鶴岡地区両協議会において検討を重ねているところである。

①歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護老健施設等の多職種と連携し在宅医療の推進を見据えた体制を整備

②現在酒田地区と鶴岡地区それぞれに設置している協議会の一元化やNPO法人化、補助金終了後の運営確保  
(地域医療連携推進法人設立協議など)

今後の事業の展望としては、ユーザー規模、登録患者数を一層拡大し「地域一体で患者を診る」体制を確立することで、国の「どこでもMY病院」構想に対応していく。また、地域包括ケアシステムの実施に向けて医療・介護の連携を確立していくこと、運営母体の継続性を確保するための施策を充実化することを想定している。

地域の中で複数の病院がグループ化し、病床や診療科の設定、医療機器設置などの効率的配置を行い、病院単独ではなく地域に必要な医療提供・医業費用を効率化できる仕組みが必要であると考えている。

このほかにも、地域の過疎化、高齢化、人口減少に対する施策、持続的健全経営やさらなる地域医療構想、ICTを活用した地域医療・介護連携体制の充実化などを検討している。

今後においては、山形県の4つの医療情報連携ネットワークをつなげた「山形県医療情報ネットワーク」の運用に向けて準備が進められている。ちようかいネットをはじめ「もがみネット」「べにばなネット」「OKI-net」がネットワーク化されることで、参加施設420、総登録患者実数約88,000人（山形県人口の8.1%）という県内最大の医療情報連携ネットワークが実現する予定である。

- 3. 参加機関の募集・説明・契約
- 4. 参加患者募集
- 5. 評価・課題整理

#### 更改Step

- 1. 改善事項検討

[← ピックアップ事例一覧へ戻る](#)

[← TOPへ戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#) 

#### ▶ 医療情報連携ネットワークはなぜ必要？

- ▶ 出発点は地域医療を良くしたいという思い
- ▶ 医療情報連携ネットワークの導入効果
- ▶ 利用者の声（導入効果）

#### ▶ 医療情報連携ネットワークをどう作る？

- ▶ 医療情報連携ネットワークの構築手順
- ▶ 実施のポイント
- ▶ 利用者の声（苦労した点、成功要因）
- ▶ ガイドライン、書式例など

#### ▶ 医療情報連携ネットワークの具体例を見る

#### ▶ 医療情報連携ネットワークとは

- ▶ データで見る
- ▶ ピックアップ事例
- ▶ 事例を探す

#### ▶ 構築手順

- ▶ 構築手順について
- ▶ Step1：計画
- ▶ Step2：構築
- ▶ Step3：運用
- ▶ Step4：更改

#### ▶ FAQ

- ▶ 用語集
- ▶ お役立ち情報
- ▶ リンク集
- ▶ 資料ダウンロード